

創刊号

城岳同窓会

平成8年9月15日

中学校



手前の白い4階建てビルが同窓会館、後方が那覇高等学校の校舎



発刊にあたり

城岳同窓会会长 宇良宗真

私たち県立二中・那覇高校は、平成10年の創立八十八周年事業に向けて期成会を結成し、各委員会を軸に活動を始めております。この度、総務委員会では、期成会の活動状況を記念事業の中核である城岳同窓会員をはじめ広く関係者に知らせ、事業推進の気運を盛り上げるため会報を発行することになりました。

私たちの母校は、二中35期、那覇高校49期と実に32,000人を超える有為な人材を世に送りだしました。反面、私たちの同窓会は、大きくなり過ぎて一体感、特に縦の連帯感が薄れつつあります。

同窓会では、同窓生の結束を図るべく、その念願であった同窓会館の取得を企画し実現しま

した。

また、同窓会活動のために必要な資金を確保するため終身会費制を導入しました。しかしながら、同窓会活動はそれだけで活発にすることはできません。やはり、その原点は、同窓会がどういう活動をしているか、それを会員に知らせることだと常々考えています。その活動状況を知らせることによって同窓生意識が喚起され、協力も得やすくなり、会の活力維持につながっていくと思います。

今回の会報発行が期成会の事業推進に資することを期待するのは申すまでもありませんが、これを契機に同窓会の通常の会報発行につなげていきたいと心から願っています。

城岳同窓会定期総会・懇親会に400人!!

平成8年度城岳同窓会定期総会が5月31日午後6時より、東急ホテル1階ゴールデンホールにおいて開催され、引き続き懇親会が盛大に行われた。

総会は、宇良宗真会長の挨拶の後、報告事項や審議事項について審議され、全会一致で承認された。



創立88周年記念事業等について審議する総会

1. 報告事項

- (1) 平成7年度事業報告 (H7.4.1～H8.3.31)
- (2) 創立88周年記念事業期成会結成大会
(期日:H7.12.6、於:那覇高校)
- (3) 同窓会館土地及び建物取得
(H8.1.16)
- (4) 創立88周年記念事業期成会各種委員会

2. 審議事項

- (1) 平成7年度決算報告および監査報告
事務局の決算報告および金城克則監事の監査報告があり、承認された。
- (2) 平成8年度事業計画案
事務局より以下の事業計画案が提案され、承認された。
 - a 同窓会館落成パーティー
 - b 同窓会理事会、評議員会
 - c 同窓会総会・懇親会
 - d 二中健児の塔慰靈祭
 - e 創立記念文化講演会
 - f 記念事業期成会の各種委員会
- (3) 平成8年度予算案
事務局より予算案が提案され、承認された。

- (4) 社団法人城岳同窓会館の会館使用規程案
期成会事務局長より同窓会館の会館使用規程案が提案され、承認された。

なお、今年度の役員は次の通り

会長	宇良 宗真	(二中33期)
副会長	金城 弘征	(二中35期)
〃	翁長 助裕	(那覇高7期)
〃	高良ミチ子	(那覇高12期)
〃	岸本 定治	(校長)
監事	高里 政彦	(二中31期)
〃	屋比久嘉光	(那覇高1期)
〃	金城 克則	(那覇高3期)

懇親会は、宮城肇氏の司会で終始和やかに進行した。宇良宗真会長の挨拶、久場政彦顧問の乾杯の後、日舞・琉舞・コント・独唱やコーラス・フォークダンスと楽しい余興が続き、那覇高各期（3・7・8期）の活動報告や校歌齊唱と大いに盛り上がった。同窓生関連の8社より景品提供があったビンゴゲームでは、総額187,850円の売上があり、創立88周年記念事業期成会に寄贈された。約3時間の懇親会は、高良ミチ子副会長の“来年もまた会いましょう”的挨拶で閉会した。

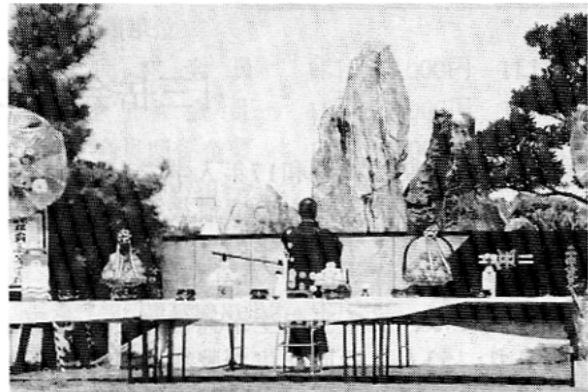


二中校歌「楚辺原頭に風清く…」を意気軒昂に歌う

二中健児の塔慰靈祭しめやかに行う

今年は今次大戦が終って51年目にあたる。城岳公園内にある二中健児の塔において、遺族、同窓生、那覇高校職員、教育実習生、生徒を含め340余名が参加する中で、午前10時半から慰靈祭がしめやかにとり行われた。

伊是名進那覇高校教諭の司会のもとで、吹奏楽部と合唱部による二中校歌の献楽に始まり、1分間の黙祷、名幸俊海護国寺住職の読経、宇良宗真同窓会会长追悼の辞、赤嶺健生徒会会长の誓いの言葉、焼香、弔電紹介とつづき、照屋真遺族会長の謝辞で慰靈祭が閉じられた。



80周年記念事業の一つとして城岳公園に移設された二中健児の塔

同窓会支部だより

関東支部 霞ヶ関ビルで総会・懇親会盛大に！

関東城岳同窓会は戦後の早い時期に旧二中同窓生によって設立されましたが、その後の那覇高卒業生の参加により、益々盛況になりつつあります。

しかしながら、現在事務局で把握している関東在住の同窓生は、800余名のみで、まだまだ充実していかなければなりません。関東城岳同窓会は毎年1回秋に総会及び懇親会を開催しており、参加者は150名から200名の間を上下しながら今日に至っています。那覇高校出身の関東在住者は年々増加しているものと思われますので、一人でも多くの参加者を増やしていくないと希望しております。更には、在郷の城岳同窓会本部とも連絡を密にし、相互の発展に協力していきたいと存じます。

幸いなことに近年若い同窓生の参加も増えつつあり、今後の活性化に明るい希望がもてるようになりました。関東地区にお住まいの同窓生諸兄姉はぜひご参加下さるよう期待いたしております。

関東城岳同窓会 会長 上江洲 太郎
事務局 〒167 東京都杉並区善福寺2-11-8
(03-3399-7615) 福永忠彦 方

関西支部 関西那覇高同窓会概況

故郷、沖縄を離れて数十年。年齢と共に、それぞれが様々な思いと、懐かしさを語り合うためにできたのが、関西那覇高同窓会です。現在関西には約100名強の那覇高同窓生が在住しており、8年ほど前から毎年11月に同窓会を開催しております。来年で丁度10回目の開催になります。元々は名嘉原盛哲氏（9期）が国場組大阪支店長の時代に、知っている範囲で皆様に声をかけて10数名の会合からスタートしたものです。

来年は、私も卒業以来30年の記念になりますので、昔の仲間に声をかけて大いに騒ごうと、今から張り切っているところであります。毎回35～50名の参加をいただきますが、初参加の方が旧友と交す何十年ぶりかの嬉しそうな声が必ず聞かれます。毎年帰省されておられる方、卒業以来40年も50年も帰っておられない方。皆それではありますが、いつも会の最後に歌う「世紀の嵐吹きすさみ……」が始まると皆、数十年前の高校時代に戻っています。今年は11月23日に歌います。

関西那覇高同窓会会長 與儀雅康（20期卒）
〒536-00 大阪市城東区成育1-2-19-601
連絡先：関西デジタルホン 06-949-5297

同期生会だより

[三岳会（二中33期生）]

私達二中33期生は昭和17年入学で、三年生のとき沖縄戦に突入したので最後の三年生ということになります。三年の「三」と城岳の「岳」をとって「三岳会」としました。

沖縄戦では、二・三年生が通信隊として駆り出され、53人の同期生が戦場の露と消えました。生き残りは戦中の厳しい動員と戦死した学友を偲んで強い絆で結ばれています。

昭和40年頃から2年おきに同期会が開かれていきましたが、今では会則や互助内規のもと

に年会費も徴収して会を運営し、3年に1回総会を兼ねて同期会を催しております。

機関誌「三岳会報」も年4回発行し、本土並びに米国在の会員も含めて会員の近況や随想及び手記など多種多様の原稿が寄せられ、それを通じて旧交を温め友情を深めています。

一方、「十七日会」と称する月例の懇母子講（20名）も日頃の情報交換と親睦の場となっております。

（山城寛則）

[那覇高三期生会]

那覇高校を卒業してから46年になる。そして那覇高三期生会を、正式に結成してから今年で15年になった。その間、卒業記念アルバム、40周年記念誌、昨年は卒業45周年記念誌をカラー印刷で発刊した。

二期と三期生で母校に校旗を寄贈し、学校創立記念事業にも、積極的に参加している。修学旅行と称して台湾やオーストリア、県外では伊東温泉などで保養したり、男女同級生が仲良く旅をするのも嬉しい気分だ。

会には同好会があって、それぞれ同好の士が集まり、親交を深めつつ部活と称し楽しんでいる。ゴルフ部会、囲碁、カラオケ、グランドゴルフ、社交ダンス、コーラス、旅行部会、成人病の予防に効果があると言われている中国氣功、還暦を越してなお生涯学習として取り組み、意気盛んである。

「同期生は増えることはない」ので毎年12月1日の同期会には恩師をお招きし、男女130人程が参加し賑わっている。

（那覇高三期生会 会長 神谷 尚）

[那覇高二六期生会]

今回の同期会は、土曜日の開催や当日までの日取りの厳しさ等で、予定人数が集ってくれるかどうかの心配をよそにあつという間に8月10日（土）、18:30の当日を迎える事となった。午前中の雨も午後には晴れ、スタートして30分では100名を超えたので、幹事一同はホット一息をつけたようです。毎回そうなのですが、今回も皆、おしゃべりに夢中になっており、実に楽しそうに過ごしているので、準備期間に大変であった事もすべて忘れてやはり開催してよか

ったと、つくづく感じてしまった次第。同期会には何の添物、アトラクションも必要ないし、しいて言えば、飲食物もいらないぐらいです。話すこと自体が糧なのでしょう。20余年の時を越えて青春時代にもどれるのですから、また、4年後の再会を約束して、各クラス、それぞれ二次会の会場へと別れました。

（那覇高26期 木村鈴羽）

創立八十八周年記念事業期成会発足

那覇高等学校の前身沖縄県立第二中学校は、明治43年沖縄県立中学校分校として首里城内に設立され、翌明治44年沖縄県立第二中学校として独立した。那覇高等学校は、戦火で消えた二中に代わり首里高等学校の分校として昭和22年那覇市内天妃小学校跡地に開校、昭和24年には学制改革に伴い新制那覇高等学校として再生、同年現在地に移転し今日に至っている。

平成10年には県立第二中学校・那覇高等学校は創立八十八周年米寿を迎える。この記念すべき時期にあたり、県内外の同窓生から「母校に同窓会館を！」の声が高い会館の建設をはじめとする下記の記念事業推進のため、平成7年12月16日に期成会を結成した。

記念事業計画

[記念事業]

- (1) 城岳同窓会館内部施設の整備・充実
- (2) 記念誌発行
- (3) 後輩を育てる育英資金の芽だし
- (4) 体育館緞帳の整備
- (5) 創立八十八記念城岳祭の開催
- (6) 記念式典等

[募金計画]

1. 募金計画

- (1) 募金目標 30,000,000円
- (2) 募金期間
第1期 平成8年4月～平成9年3月
第2期 平成9年4月～平成10年3月

2. 募金対象及び募金目標額

- (1) 同 窓 会 員 25,000,000円
- (2) P T A 会 員 2,500,000円
- (3) 会 員 関 係 企 業 2,500,000円

3. 募金額単位

- (1) 同 窓 会 員 1口 5,000円 1口以上
- (2) P T A 会 員 1口 3,000円 1口以上
- (3) 会 員 関 係 企 業 1口 30,000円 1口以上

4. 取りまとめ銀行

- 琉球銀行樋川支店 口座No. (普) 81-725
- 沖縄銀行二中前支店 口座No. (普) 1302549
- 海邦銀行県庁内出張所 口座No. (普) 0033160

※口座名義人

県立二中・那覇高創立88周年記念事業
期成会会长 宇 良 宗 真

[役員]

- 会長 宇 良 宗 真
(二中33期・同窓会会长)
- 副会長 金 城 弘 征
(二中35期・同窓会副会長)
- 〃 岸 本 定 治
(那覇高等学校校長)
- 〃 久 手 堅 武 司
(那覇高等学校PTA会長)
- 顧問瀬 長 浩
(二中25期)
- 〃 久 場 政 彦
(二中23期)
- 事務局長 源 河 徳 博
(那覇高7期)

委員会

- 同窓会館建設検討委員会委員長
翁 長 助 裕 (那覇高7期)
- 総務委員会委員長
神 谷 尚 (那覇高3期)
- 記念誌委員会委員長
又 吉 稔 (二中33期)
- 財務委員会委員長
真栄田 司 (那覇高3期)

那覇高校ニュース

平成8年3月1日、第49回卒業式が挙行された。普通科479名、家政科36名、衛生看護科39名、計554名が卒業して同窓生の仲間入りをした。

家政科は今回の卒業式を最後に、県の「県立高等学校編成整備計画」に基づき廃科となり、38年間の歴史に幕を閉じた。

卒業生の進学状況は、県内国公立53名（琉大49、芸大4）、県外國公立4名、県内私大64名（沖国45、沖大5、名桜14）、県外私大74名（指定推薦38）県内短大43名（沖短5、キリ短27、女短11）、県外短大18名（指定推薦6）、看護学校29名（浦看17、沖看6、那看1、県外5）となっている。特に琉大の合格者は現・浪を合わせて128名合格、キリ短は19名受験し全員合格するなど好成績を収めた。

入学式は4月8日に行われ、衛生看護科40名、普通科520名、計560名の新入生が入学した。現在の生徒在籍は衛生看護科117名（男子4、女子113）、普通科1,575名（男子685、女子890）、計1,692名である。

高校総体は5月31日から6月5日までの日程で開催された。本校は17種目の競技に男子164名、女子140名の選手が参加した。団体戦では、女子水泳2位、男子水泳3位、自転車2位、女子剣道3位、女子空手道3位と健闘した。個人戦では、空手男子組手花城君優勝、弓道女子高良さん優勝、女子柔道で具志堅さん準優勝し、それぞれ九州大会等へ派遣された。総合成績は5位入賞。



伝統的に3年生に利用され、親しまれた
I棟が改築新装された

城岳同窓会館のご案内

わが城岳同窓会も86年の歳月を迎え、「楚辺原頭に風清く、永遠にゆるがぬ城岳…」と校歌に歌われた第二中学校、「世紀の嵐吹きすさみ、故山の草木貌かえ…」と校歌に歌われた那覇高校、あわせて約32,000人の卒業生が各界でリーダーとして活躍しています。

「母校に同窓会館を！！」との声が同窓生の間から叫ばれ、同窓生各位のご尽力により平成8年4月に会館（那覇高隣地、一頁に写真あり）が実現しました。

会館は同窓会員の親睦の場であり、2階は二中・那覇高の歴史を後世に語り継ぐ資料展示室とし、3階は会員のクラス会、会議、展示会場等に利用でき、収容人員は50人、4階は進学指導教室として、学校が活用しています。

会員のみなさん！！ ご利用下さい。

なお、団体使用料金は下記の通りです。

日 時		使用料（1時間当り）	
		同窓会員	その他一般
平 日	9時～17時まで	500円	700円
土 曜 日	9時～13時まで		
平 日	17時～21時まで		
土 曜 日	13時～21時まで	700円	1,000円
日曜祝祭日	9時～21時まで		

[事務局より]

故喜納信吉氏（旧沖縄県立第二中学校職員）
遺族、喜納信也・西静子氏より50,000円
香典返しがありました。

城岳同窓会会報

編集発行 創立88周年記念事業期成会
総務委員会

〒900 沖縄県那覇市松尾1-21-53

電話 098-867-2525